



別冊

東大和市

観光マップ

～歴史に触れる～

神社・お寺編

# 東大和市の神社・お寺

## 昔の中心地は狭山丘陵

東大和市は、多摩湖(村山貯水池)と狭山丘陵、南に続く台地に広がっています。江戸時代まで、中心地は現在の多摩湖となる前の狭山丘陵にありました。丘陵や空堀川周辺に、旧石器、縄文時代の人々が活動した痕跡(石器・土器・住居址)を残します。弥生時代の遺跡は未確認ですが、奈良・平安時代には丘陵の谷ッを中心に定住が進みました。市内最古の神社である豊鹿島神社が創建の伝承を残します。平安時代末、鎌倉時代に入ると三光院や円乗院が開かれます。以降、安土桃山、江戸時代を経て多くの神社やお寺が創建されたと伝えられています。

## 神社とお寺は暮らしとともに

江戸時代になると、街道と水路が整備されます。慶長8年(1603年)青梅街道が開通、承応3年(1654年)玉川上水、翌、明暦元年、野火止用水が完成しました。丘陵内と南麓に拠点を置いた芋窪村、奈良橋村、高木村、後ヶ谷村(うしろがやむら)、清水村の村人達は南に広がる原野を農地とするため新田開発へと乗り出しました。



江戸時代も後期になると庶民の観音信仰が盛んになり、天明8年(1788年)に狭山三十三観音霊場が開創されました。また、豊鹿島神社、高木神社で獅子舞の奉納が始まるなど、神社・お寺はこれまで以上に人びとの生活に根ざしたものになりました。

## 多摩湖誕生による大移転

明治時代になると、各村が協力しあい、手を結ぶ流れが生まれ、明治22年(1889年)に高木村村外5ヶ村組合が結成されました。明治45年(1912年)、東京市が村山貯水池の建設を決定し、建設地内にあった三光院、蓮華寺、慶性院、氷川神社と熊野神社(合祀して清水神社)、御霊神社(狭山神社に合祀)が今の場所に移りました。同時に集落も移転し、大正13年(1924年)に上貯水池、昭和2年(1927)に下貯水池が完成、水と緑が調和する東大和市の礎が築かれました。現在は、ベッドタウンにある神社・お寺として東大和の人びとと結びついています。



### 玉湖神社 - 神様がいない神社 -

多摩湖のほとりにある玉湖神社(たまのうみじんじゃ)は、水神を祀る神社でした。

昭和初期に当時の東京府水道局が中心となって建てたものの、戦後、諸般の事情により昭和42年に「御霊遷し」が行われ、神様がいない神社となりました。

1

## 慶性門



「長屋門」形式の山門で、文久元年に建てられました。慶性院が芋窪へ移った際には移転されずに残されていましたが、昭和29年に多摩湖の北側へ移転・修復されました。

▶▶ 西武鉄道「西武球場前駅」徒歩9分

2

## 慶性院



慶性院の創建は16世紀半ばと言われており、大正11年に多摩湖の工事により上貯水池内から現在地へ移されました。境内には市重宝の水天像があります。

▶▶ 立川バス「東大和警察署」徒歩5分

3

## 豊鹿嶋神社



市内最古の神社で、慶雲4年の創建とされています。文正元年建立の本殿(附棟札)は、都内最古の神社建築であり、都の有形文化財(建造物)です。また、木製の狛犬と江戸時代後期の作と思われる獅子頭は市重宝です。

▶▶ 西武バス・都営バス「貯水池下」、立川バス「芋窪」徒歩2分

4

## 熊野神社



熊野神社の創建時期は分かりませんが、古文書によると16世紀から17世紀には、この地に社殿があったと記されています。境内には3つの力石(75kg、96kg、121kg)があり、昔の村人たちは力比べを行っていました。

▶▶ 西武バス・都営バス「蔵敷」徒歩2分

5

## 八幡神社

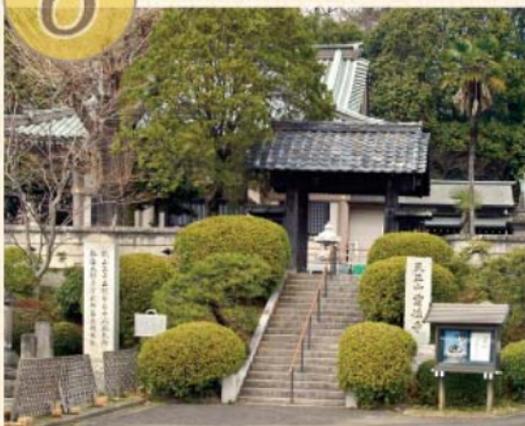


八幡神社は、言い伝えによると江戸時代より前に社殿が建てられた、とあります。現在の本殿・拝殿は昭和7年に建立されたもので、境内にはかつて参道の入り口にあった樹齢270年の大杉の根株が残されています。

- ▶▶ 西武バス・都営バス「八幡神社」、ちよこバス「郷土博物館入口(八幡神社・狭山緑地下)」徒歩7分

6

## 雲性寺



創建年代は不詳ですが、地頭の墓がある古くからの寺院です。山門は箱根本陣の一の門を譲り受け、昭和26年に設置されました。山門の下には奈良橋庚申塚から移築した庚申塔、本堂には珍しい形状の庚申塔「阿字庚申」があります。

- ▶▶ 西武バス・都営バス「八幡神社」、ちよこバス「郷土博物館入口(八幡神社・狭山緑地下)」徒歩4分

7

## 円乗院

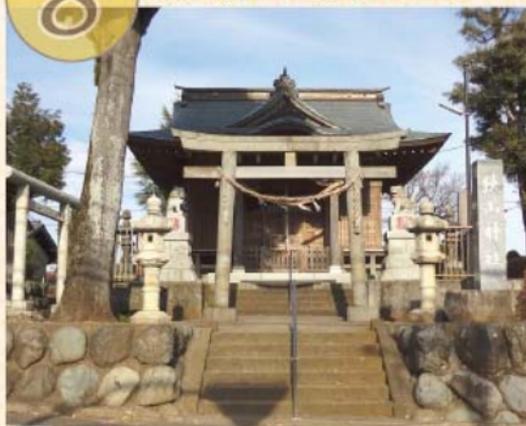


円乗院の開祖は、平治元年に入寂した賢誉法印と言われています。寺院は以前、二ツ池付近にありましたが慶長12年の風水害で現在地に移されました。美しい山門「鐘楼門」は寛延2年に建てられたものです。

▶▶ 西武バス「高木2丁目」「狭山3丁目」徒歩3分

8

## 狭山神社



いつごろの創建なのかは明らかではありませんが、狭山村の前身である後ヶ谷村の村社として天宮大明神(てんぐだいみょうじん)と呼ばれていました。また、貯水池内にあった御霊神社は、大正時代に狭山神社へ合祀されました。

▶▶ 西武バス「狭山3丁目」徒歩4分

## 9 蓮華寺



蓮華寺の創建時期は分かりませんが、江戸時代初期に中興開基されたと伝えられており、境内には、馬頭観音や六地藏などが祀られています。多摩湖の工事によって大正12年に現在の場所に移転するまでは、上貯水池内にありました。

▶▶ 西武バス・都営バス「貯水池下」、立川バス「芋窪」徒歩4分

## 10 清水神社



多摩湖の工事により、貯水池内にあった氷川神社(建保2年創建)と熊野神社が移転することになり、合祀して清水神社になりました。神社には徳川初期からの御朱印状(市重宝)があります。

▶▶ 西武鉄道「武蔵大和駅」徒歩6分

11

## 高木神社



高木神社の創建年代は不明ですが、古くから高木村の鎮守として親しまれており、記録には宝暦12年に本堂を建てなおしたとあります。9月の祭礼の折には、江戸時代に始まった「高木獅子舞」が奉納されます。

▶▶ 西武バス「塩釜神社前」徒歩4分

12

## 塩釜神社



塩釜神社は高木神社と同じ境内にあり、安産の神様として知られています。かつては、個人宅の屋敷神として祀られていましたが、明治10年に現在の場所に移されて今の塩釜神社となりました。

▶▶ 西武バス「塩釜神社前」徒歩4分

13

## 笠森稲荷



笠森稲荷は、瘡守稲荷にお参りした人が高木にも同じお稲荷さんを祀ろうと、明和元年に勧請したものです。どちらも天然痘や皮膚病よけの神様として信仰されています。

▶▶ 西武バス「塩釜神社前」徒歩5分

14

## 瘡守稲荷



瘡守稲荷は、天保5年に発行された御岳参りの道中記「御岳管笠」にも記されているお稲荷さん。以前は東大和市駅前広場脇、銀杏の樹のたもとにありました。

▶▶ 西武鉄道「東大和市駅」徒歩3分

15

## 三光院



▶▶ ちょこバス「上砂台」徒歩4分

天永元年に建立されたお寺で、以前は下貯水池の取水塔付近にありました。本尊の阿弥陀如来坐像のほか、釈迦誕生仏立像など、江戸時代のものと思われる仏像が残されています。本堂左側にあるお堂は狭山三十三観音の札所です。

16

## 青梅橋跡



▶▶ 西武鉄道「東大和市駅」すぐ

青梅橋は、青梅街道を横切る野火止用水の橋として承応4年に架けられました。以来、多くの人に利用されてきましたが、昭和38年に野火止用水が暗渠になるとその役目を終え、残された欄干のみが当時の面影を伝えています。



西武球場前駅

玉湖神社

西武山口線(レオライナー)

多摩湖  
(村山貯水池)

村山下貯水池  
第一取水塔

1

3

5

4

6

7

8

2

9

11

12

13

空堀川

上北台駅

東大和市役所

市民会館  
(ハミングホール)

桜街道駅

多摩モノレール

平和広場  
(旧日立航空機  
株式会社変電所)

東大和市駅

玉川上水駅

14

16

玉川上水

遊園地西駅



- ① 慶性門
- ② 慶性院
- ③ 豊鹿嶋神社
- ④ 熊野神社
- ⑤ 八幡神社
- ⑥ 雲性寺
- ⑦ 円乗院
- ⑧ 狭山神社
- ⑨ 蓮華寺
- ⑩ 清水神社
- ⑪ 高木神社
- ⑫ 塩釜神社
- ⑬ 笠森稻荷
- ⑭ 瘡守稻荷
- ⑮ 三光院
- ⑯ 青梅橋跡

地図の詳細は「東大和市観光マップ」をご確認ください。

# 東大和市へのアクセス

## 主要路線バスを利用する場合

### 立川から西武バス・立川バスで約30分

- 立川駅北口～東大和市駅～奈良橋～芋窪～イオンモール
  - 立川駅北口～玉川上水駅～桜街道～イオンモール
  - 立川駅北口～東大和市駅～南街
  - 立川駅北口～東大和市駅～南街入口～芝中団地  
※日中は概ね60分間隔
  - 立川駅北口～玉川上水駅～村山団地  
※日中は概ね15分間隔
- ※日中は概ね30分間隔

### 花小金井、青梅から都営バスで約40分～50分

- 花小金井駅北口～小平駅～東大和市駅～奈良橋～芋窪～箱根ヶ崎駅～青梅駅～青梅車庫  
※日中は概ね30分～60分間隔

### 東村山から西武バスで約15分

- 東村山駅西口～武蔵大和～奈良橋～東大和市駅～立川駅北口 ※日中は概ね30分間隔

### 久米川から西武バスで約20分

- 久米川駅～東大和清水郵便局～新堀～東大和市駅～立川駅北口/小平営業所  
※日中は概ね10分～15分間隔

## 鉄道を利用する場合

新宿、池袋から西武鉄道の急行で約40分

- 東大和市駅、玉川上水駅、武蔵大和駅、西武遊園地駅、西武球場前駅で下車

立川から多摩モノレールで約10分～15分

- 玉川上水駅、桜街道駅、上北台駅で下車

## クルマを利用する場合

- 都心から青梅街道、新青梅街道で約1時間
- 立川から立川通り、青梅街道または茅窪街道で約15分

## 東大和市のコミュニティバス ちょこバス

- 循環ルートと往復ルートがあります。
- 乗車料金 大人…180円(ICカード 175円)  
小人…90円(ICカード 88円)  
未就学児…無料



※障害者割引、回数券、1日乗車券があります。シルバーパスは利用不可。

※「東大和市役所」バス停で『循環ルート』と『往復ルート』を相互に乗り継ぐ場合、乗り継ぐバスの乗車料金が1回のみ無料になります。

この冊子は「東大和市観光マップ」  
の情報をテーマに沿ってより詳しく  
紹介したものです。

2冊を合わせて持つことで、観光  
マップで位置情報を確認しながら気になるところ  
の詳細情報を別冊の付属本でチェックでき、  
よりまち歩きを楽しむことができます。



■ お問い合わせ先 ■

## 東大和市産業振興課

TEL 042-563-2111 (内線1074)

FAX 042-563-5927

H P <http://www.city.higashiyamato.lg.jp/>

発行日 平成31年3月

編集 株式会社中央ジオマチックス

 東大和市